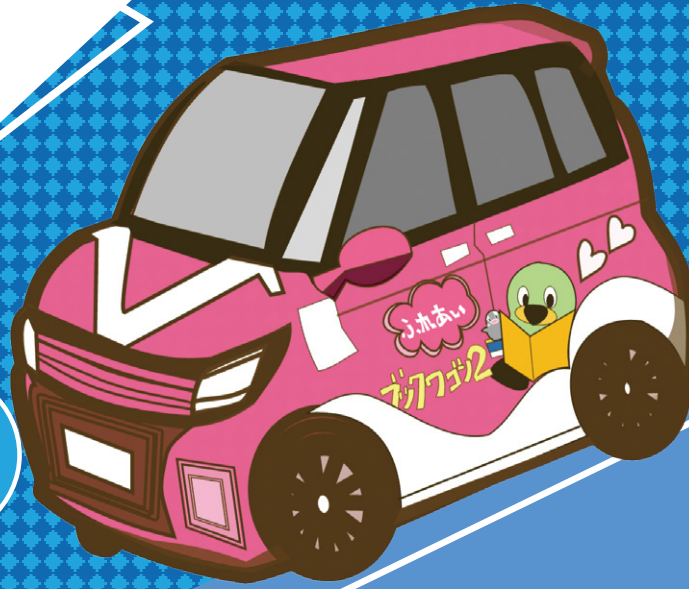


概要版

令和8年度～  
令和12年度



三	郷	市		
こ	ど	も	読	書
活	動	推	進	計
				画

第 3 次

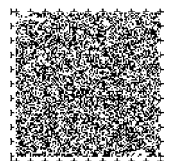
にっ ぽん いち  
日 本 一 の 読 書 の

ま ち 三 郷

推 進 計 画



令和8年3月 三郷市



Uni-Voice

## 1

### 第3次日本一の読書のまち三郷推進計画策定の背景

三郷市では平成25年に市議会での議決を経て「日本一の読書のまち」を宣言し、令和3年には「第2次日本一の読書のまち三郷推進計画」を策定し各種施策を推進してきましたが、この度、期間満了により、これまでの成果と課題を精査したうえで新計画を策定しました。

## 2

### 第2次日本一の読書のまち三郷推進計画の成果と課題

#### 成果

- 計画のキャッチフレーズを、日本一「本とふれあえるまち」と掲げたことで、何をもって日本一かを名乗ることができた。
- 学校や児童・生徒が、文部科学大臣表彰をはじめとする各種の賞を受賞するとともに、三郷市教育委員会が、市民全体に対する取組も評価され、高橋松之助記念「文字・活字文化推進大賞」を受賞した。
- ふれあい文庫を20箇所以上増設するとともに、「ふれあいブックサポーター」を育て、課題であった「ネットワークづくり」の構築に努め、新たなコミュニティを創出した。
- ふれあいブックワゴン2号車を導入し、高齢者施設等へ本を届け、司書が施設を訪問して本の紹介や読み聞かせを実施するなど、様々な読書の機会を提供した。
- 早稲田図書館で、長寿命化に伴う大規模改修工事を実施した。
- みさと絵本サーキットや各種講座等の開催により、市民が読書に親しむきっかけ作りを行った。
- こども司書が、図書館や店舗等での絵本の読み聞かせを行うほか、読書イベントに携わるなど、多岐にわたって活躍した。
- 「全国家読ゆうびんコンクール」を開催し、全国だけでなくギリシャ共和国などの他国からも応募があった。

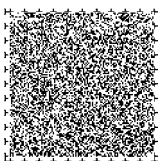
#### 課題

- 様々な手法で読書活動を推進しているが、本・雑誌を読まない市民や図書施設を利用しない市民が一定数いるため、課題であった「市民総ぐるみの読書活動」、「知の創造」については引き続き推進していくことが求められる。
- 北部図書館など開館から時間が経過している施設では、施設の老朽化が進んだ。
- 図書館資料や電子書籍の充実への市民の期待の高まりに対して十分に答えることができなかった。
- 小学校や公共施設で活動する読書ボランティアについて、高齢化などの理由により、今後人数の減少が危惧される。
- こども司書卒業生による任意団体である三郷読書 Read&Lead の会（R&L）について、活動支援が不十分だった。

## 3

### 計画の位置付け

本計画は、「第5次三郷市総合計画後期基本計画」、「日本一の読書のまち宣言」等を受け、乳幼児から高齢者までのすべての市民を対象とする読書推進方策として位置付けるものです。



## 計画の位置付け

日本一の読書の  
まち宣言

平成25.3.18  
三郷市議会議決



©三郷市 2017



SDGsの関連目標

(第5次三郷市総合計画より)



第5次三郷市総合計画後期基本計画  
令和8年4月～

第3次日本一の読書のまち三郷推進計画  
令和8年4月～令和13年3月  
三郷市こども読書活動推進計画

日本一の読書のまち三郷推進計画  
(平成28年度～令和2年度、令和3年度～令和7年度)  
【三郷市子ども読書活動推進計画】

読書のまち三郷・子ども読書活動推進計画  
(平成23年度～平成27年度)

子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画(国)  
埼玉県子供読書活動推進計画(県)

子どもの読書活動の推進に関する法律

## 4 計画の策定体制

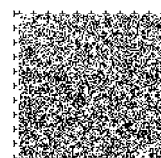
本計画の策定にあたっては、市民関係団体・関係機関の代表者で構成する「日本一の読書のまち三郷関連機関等連絡会」をはじめ、教育長と4名の委員で組織する「三郷市教育委員会会議」、庁内関係各課で構成する「日本一の読書のまち三郷推進関係行政協議会」を協議機関として検討を行いました。また、市内で活動する読書ボランティアへの聞き取り、各種イベントの来場者に対するアンケート、パブリック・コメントによる市民の皆様への意見聴取を実施いたしました。

## 5 計画の将来像

本計画は、「日本一の読書のまち」宣言が提唱する姿を将来像とします。

### 目指す将来像

読書活動をとおして人と人との絆を結び、  
誰もが、いつでも読書に親しみ、  
心豊かに暮らすことができる、  
文化の香り高いまち



## 6 計画の期間

本計画の期間は、令和8年度から令和12年度までの5年間とします。ただし、社会情勢の変化等、必要に応じて計画の見直しを図ります。

## 7 計画に記載された各施策の実施主体

本計画に記載された各施策の実施主体については、施策毎に記載していますが、記載のない課、機関、団体等に対しても、読書活動の推進のため積極的に連携及び協力を実施していくものとします。

## 8 計画の基本方針

本計画によって導く市の将来像の実現のため、以下の3つの基本方針を立てるとともに、それぞれの基本方針を象徴するキーワードを設定します。

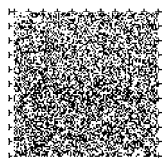
- |    |                 |    |
|----|-----------------|----|
| 1. | どこでも本と出会い読書に親しむ | 地域 |
| 2. | いつでも本に触れ知識を深める  | 機会 |
| 3. | だれでも本を通じて交流を広げる | 人  |

3つの基本方針は互いに連携することで、読書活動全体の更なる拡大を目指します。

## 9 計画の対象

本計画の対象はすべての市民としますが、本計画が「こども読書活動推進計画」を内包する計画となっていることから、こどもの発達段階に合わせて適切な施策を実行できるよう、成人未満については段階的な対象を設定しています。

- |       |   |                       |
|-------|---|-----------------------|
| 乳幼児   | … | 0歳から小学校入学前まで          |
| 児童・生徒 | … | 小学校入学から中学校卒業までの義務教育期間 |
| 青少年   | … | 中学校卒業から概ね18歳まで        |
| 成人    | … | 概ね18歳から概ね65歳まで        |
| 高齢者   | … | 概ね65歳から               |
| 全世代   | … | 全ての年齢階層               |





## 計画のキャッチフレーズ

日本一「本とふれあえるまち」

三郷市は、日本一「本とふれあえるまち」を実現するために、**読書密度**を高めます。  
読書密度とは3つの基本方針（地域・機会・人）と連動した**三郷市独自の数値**です。

### ① 地域に読書に関する拠点を増やして本と市民との距離を縮めます

読書拠点(※) ÷ 市の面積 = 地域の読書密度



※図書館（公共図書館、図書室、予約図書受取カウンター）、ふれあい文庫、小・中学校、ふれあいブックワゴンの訪問場所等の合計  
この数値により、1 km<sup>2</sup>の範囲内に読書拠点が何箇所あるかが分かります  
（地域の読書密度が大きくなればなる程、市内に読書拠点多いこととなります）

### ② 本との出会いを増やして市民が本に親しむ機会を増やします

本との出会い(※) ÷ 市の人口 = 機会の読書密度



※図書館及び学校図書館での貸出冊数、各種事業（出張図書館サービス、ブックスタート等）の参加者、各種読書イベントの参加者、全国家読ゆうびんコンクール応募数等の合計  
この数値により、市民1人に対し本との出会いがどの程度あるかが分かります  
（機会の読書密度が大きくなればなる程、本と市民との出会いが多いこととなります）

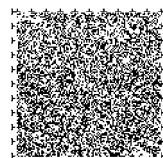
### ③ 本と市民をつなぐ活動をする人を増やします

本と市民をつなぐ人の数(※) ÷ 市の面積 = 人の読書密度



※こども司書、ふれあいブックサポーター、読書ボランティアの人数の合計  
この数値により、1 km<sup>2</sup>の範囲内に本と市民をつなぐ人が何人いるかが分かります  
（人の読書密度が大きくなればなる程、本と市民をつなぐ人が多いこととなります）

今後は各数値の上昇を目指します



# 第3次日本一の読書のまち三郷推進計画(令和8～)

## 計画の根本

- ・第5次三郷市総合計画後期基本計画
- ・日本一の読書のまち宣言
- ・㊦子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画 ㊧埼玉県子供読書活動推進計画

## 基本方針 1 どこでも本と出会い読書に親しむ 地域

1	ふれあいブックワゴンや読書拠点ネットワークによる知の財産の活用 ☆	全世代
2	公共施設等の図書環境の整備と充実 ☆	全世代
3	多様な読書機会の確保	全世代
4	デジタル社会に対応した読書環境のDX化推進	全世代
5	学校図書館の環境の整備と充実	児童・生徒、全世代
6	寄贈本やリサイクル本の利活用	全世代
7	ふれあい文庫の拡充と適正な配置 ☆	全世代

☆ は今計画で重点的に取り組む施策です。

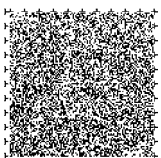
## 基本方針 2 いつでも本に触れ知識を深める 機会

1	レファレンスやオンラインデータベースによる課題解決支援 ☆	全世代
2	図書館の利用を促進するための事業、講座、サービスの実施	全世代
3	小・中学校における読書活動の推進と充実	児童・生徒
4	読書活動を促す講座、講演会等の開催 ☆	全世代
5	ブックコラボレーションの推進 ☆	全世代
6	書店・出版社・各種企業との連携	全世代
7	郷土資料の収集や整理、市の歴史や文化に触れる機会の充実	全世代
8	ブックスタート事業の実施	乳幼児、成人
9	らんどせるブックよもよも事業の実施	児童、成人

☆ は今計画で重点的に取り組む施策です。

### 取組に対する年齢階層

名称	対象とする年齢
乳幼児	0歳から小学校入学前まで
児童・生徒	小学校入学から中学校卒業までの義務教育期間
青少年	中学校卒業から概ね18歳まで
成人	概ね18歳から概ね65歳まで
高齢者	概ね65歳から
全世代	全ての年齢階層



Uni-Voice

### 将来像

読書活動をとおして人と人との絆を結び、誰もが、いつでも読書に親しみ、心豊かに暮らすことができる、文化のかおり高いまち

## 基本方針 3 だれでも本を通じて交流を広げる

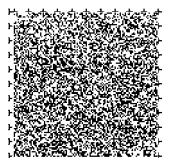
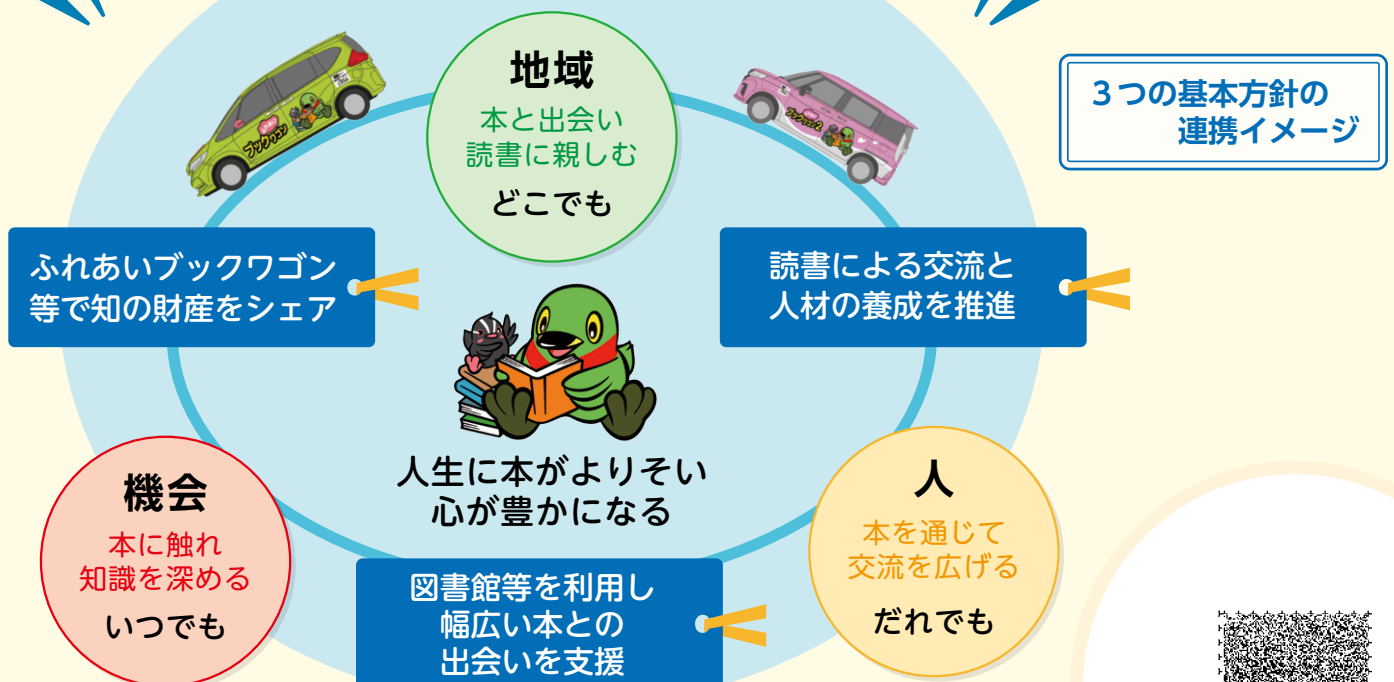
人

1	読書による交流事業の実施	☆	全世代
2	読書活動の周知と情報発信		全世代
3	図書館司書・学校司書の配置と連携		全世代
4	家庭での読書活動の推進		全世代
5	全国家読ゆうびんコンクールの開催	☆	全世代
6	三郷こども読書週間・秋の読書週間の推進		全世代
7	こども司書の養成と活動支援	☆	児童・生徒
8	ふれあいブックサポーターの養成と活動支援		青少年、成人
9	読書ボランティアの養成と活動支援		青少年、成人

☆ は今計画で重点的に取り組む施策です。

### 計画のキャッチフレーズ

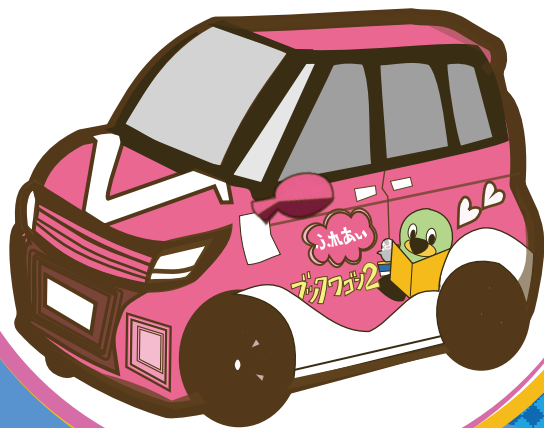
## 日本一「本とふれあえるまち」



## ふれあいブックワゴン

ふれあいブックワゴンを活用し、市内の子育て施設、小・中学校、高齢者施設等、日頃図書館への来館が難しい方々に読書の機会を提供します。

### ふれあいブックワゴン2号車



### ふれあいブックワゴン1号車



## 日本一の読書のまち宣言

読書は、先人の想い、人類の英知を伝えるとともに、みずみずしい感性や旺盛な好奇心を育み、より深く豊かに生きるための力となって、生涯にわたり大きな財産となります。

三郷市は、「日本一の「読書のまち三郷」づくり」をかかげ、子どもたちに「読書の楽しさ、知る喜び」を伝えるため、家庭・地域・学校・図書館が一体となり、おはなし会やブックトーク、朝読や家読、子どもが感想などを伝えあう読書郵便、市が独自に編集した『言葉の力』、子ども司書の養成、読書フェスティバルなどにより、読書活動を推進してきました。

市制施行40周年の節目では、「全国家読サミット」において、三郷市を全国に向け発信しました。

私たちは、読書活動とおして人と人の絆を結び、誰もが、いつでも読書に親しみ、心豊かに暮らすことができる、文化のかおり高いまちを創ることを願い、

- 1 乳幼児期から読書の世界に触れる機会を大切にします。
- 1 「家読ゆうびんコンクール」をはじめとし、家読をすすめます。
- 1 三郷の歴史・民話など、郷土を深く知る機会を大切にします。
- 1 図書館などを活用し、読書に親しむ機会を大切にします。
- 1 人と本をつなぐネットワークづくりをすすめます。

ここに三郷市は「日本一の読書のまち」を宣言します。

(平成25年3月18日議決)

## ロゴマーク

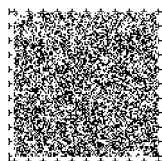


「日本一の読書のまち三郷」の将来像や理念を表すロゴマークとして、平成29年の読書フェスティバルで、市民からの投票により決定しました。このロゴマークは「日本一の読書のまち三郷」をPRするために活用しており、条件を満たせば一般の方でも使用することができます。詳しくは日本一の読書のまち推進課までお問い合わせください。

## 第3次日本一の読書のまち三郷推進計画

(令和8年度～令和12年度)

発行 : 令和8年3月  
編集 : 三郷市教育委員会 生涯学習部 日本一の読書のまち推進課  
住所 : 〒341-8501 埼玉県三郷市花和田648番地1  
TEL : 048-953-1111 (代表)  
URL : <https://www.city.misato.lg.jp/>



Uni-Voice